

消費税率10%強行は暮らしも経済も壊す 藤野衆院議員とともに安倍政権の暴挙を批判

10月1日、安倍政権はとうとう消費税率10%を強行しました。日本共産党は全国で街頭からこの暴挙を批判し、暮らしと経済を立て直す政策を訴えました。

上越市では日本共産党の藤野保史衆院議員とともに、私もあすとびあ高田前、上越大通りなどろか所での宣伝行動に参加しました。

街頭演説で藤野衆院議員はまず、「消費税率10%の強行は暮らしを壊し、経済をさらに冷え込ませる。この暴挙、絶対に許すわけにはいかない。たかひはこれからだ。こともあろうに、日本の財界の皆さんは消費税率17%、25%まで言いだしている。こういう暴



走にストップをかけてため、いまから消費税率の道を開き、減税への道を切り拓いていこうとがんばりました。



続いて、「この30年間、消費税率は『社会保障のため』、財政再建のため』と言われ続けてきた。しかし、年金は毎年減らされ、介護の負担は毎年引き上げられ、社会保障はいつこうに良くなっていない。先日は全国の病院を名指しして、国が再編統合しろ、こんなことまで言い始めた。消費税率は社会保障のためではなかった、このことはもはや明らかだ。『国の借金もいま1千兆円を超えた。財政再建のためにも使われてこなかった』とのべました。

その上で藤野議員は、「この30年間、みなさんが納めた消費税率は4百兆円に達しているが、同じ期間内に法人税は3百兆円近く減り、所得税（及び住民税）も270兆円以上減った。法人税の大企業減税、所得税の富裕層への減税によって本来集まるべき税収が集まらない。これによって穴があ



【セイロンライティア】キョウチクトウ科の低木です。背丈は30センチから200センチ。6月～10月に直径3センチほどの白い花を咲かせます。原産地はスリランカですが、花の名前のセイロンは旧国名です。花言葉は「清純」「清楚」。緑色の葉に白い花は似合います。大湯区にて撮影しました。

いてしまいい、その穴埋めに消費税率が使われてきた。私たちはこの結果に基づいて、消費税率廃止の旗を改めて掲げるとともに、消費税率は5%に下げろべきだと具体的に提議をしている。提議では、税金は力に応じて納めていただく、これを法人税でもしっかりやれば、6兆円から7兆円、所得税では2兆円から3兆円、産み出すことができる」とのべました。

街頭宣伝は急ぎで行ったものですが、それでも足を止めてくださったり、車の中から手を振って下さる方もありました。



先月25日の一般質問で私は、政府が原発などで発生する「核のごみ」の地層処分をすすめるようとする科学的特性マップを公表し、「好ましい地域」とそうでない地域の区分をしていることなどをとりあげ、村山市長の見解を求めました。

ただこうした発言の一方で、市長は、「核のごみ」処分方法として地層処分は世界の流れになっていくかのような発言もしました。私は、日本を代表する科学者組織、日本学術会議の見解を示しながら批判しました。

設定区域には疑問 地層処分でも市長が見解

春よ来い

第五七六回

同郷の人

誰かに会おうと決めていたわけではあり
ません。ただ何となく、会いたい人に会え
るかも知れないという予感がしたのです。

吉川高等特別支援学校の「吉川ドリー
ムフェスタ」の日のことでした。午前10時
半頃、ハッピーカフェで一休みしようとい
育館入り口のところまで行って、躊躇(ちゆ
うちよ)しました。受付のところには長い列
ができていたからです。でも、この日を逃
せば、またしばらく行けないと思い、時間
がかかっても待つことにしました。

長い列の最後尾に行き、会場を見渡す
と、浦川原区在住のTさんや旧吉川町青年
団時代からの友人のYさんの姿が見えまし
た。また、テーブルに座っている人の中に
原之町のOさんやYさんなど何人かの知っ
ている顔を確認できました。それに、同校
の卒業生のTさんの姿もみえました。

みなさん、フェスタを楽しみに来ている
んだなあと思いつつ、「ふれんどり〜ミ
ルはまなす」の売店の方を見たときです。
その近くのテーブルに座っていた白髪の女
性が私の方を向いて手を振っています。母
と同郷のヨシエさんです。その隣には姉の
カズエさんの姿も見えました。この姉妹と
はそれこそ何年も会っていませんでした。
どうしても話をしたいと思いました。

ハッピーカフェの受付にたどり着けるま
で20分くらいはかかったでしょうか。そ
の間、二人が帰らないか気が気でなかった
のですが、注文したカプチーノを受け取っ
た段階でも、まだ二人は仲良くおしゃべり
をしていたのでホッとしました。

二人のそばまで行って、「元気かね」と
声をかけると、「おまんたおかあさんも元
気そうだね」という言葉が返ってきました。
「もうじき、100だろね」と言われ
ましたので、「なしてね、まだ九五だわ
ね」と言つと、「100なんて、すぐだ

わね」とカズエさんが言いました。

「そうそう、最近、撮ったばちやの写真
あった。ほんとは、あんたがた、いなるが
だったら連れてきたいところだけど」そう
言つて、スマホの中にある母の写真は何枚
か見せると、「ああ、やっぱり、似てる
わ。『のうの』(母の実家の屋号)のしょ
に」と言われました。懐かしがって、カズ
エさんは写真の母に向かって、「元気か
ね」と声をかけてくださいました。

この姿を見た私は、「こりゃ、声も聞い
てもらおう」そう思つて、スマホを使い家
に電話をかけました。

しばらく呼び鈴が鳴り、やっと電話口
に出た母に「ばちや、おれだよ。おまんの
知つてる人とかわるわ」そう言つて、電話
をカズエさんに渡しました。

「半分くらいしか聞こえねかもしんね
でね」と言ったのですが、それでも聞こえた
ようです。「かちやかね、おれヒツカ(屋
号)、わかんなる〜」カズエさんは元気に
呼びかけました。そして、「おまん、こ
んだハルミさんちに行つてごたく言い合お
うさ」そんな提案もしていました。

カズエさんの電話が一区切りしたところ
でヨシエさんともかわつてもらいました。

「同じ声だすけ、わかるかな〜」そう言
いながらも母とやりとりしていました。

カズエさんとヨシエさんは大島区竹平の
「シタ」(屋号)の出身、いまは吉川区源
地区に住んでいます。同じ源地区に住んで
いるハルミさんも竹平の「カミヤ」(屋
号)の出身です。これまで三人は何回も、
ハルミさんの家でソバを食べながら、お
しゃべりを楽しみ、励まし合つてきまし
た。もちろん、母も一緒です。

同郷の者同士が元気であることを確認で
きたカズエさんは、別れ際に言いました。
「ああ良かった、きょうはいい日だ」。

全員が主役の夢舞台。感動のドリームフェスタ、今年も開催

ニュースフラッシュ

県立吉川高等特別支援学校で28
日、「吉川ドリームフェスタ」が行
われました。

午前には作業学習発表、清掃作業や
接客サービス、小物づくりの実演な
どがありました。

午後からは学年紹介とバンド演奏
です。会場となった体育館は、生徒
の保護者や地域の人たちなどでい
っぱいでした。バンド演奏は、みな
が燃えたというか、のってました
ね。みんな一生懸命で、学年が上
がるごとに一段と盛り上がってい
きました。「星空のディスタンス」の演
奏では、ドラマーがスティックをく

るくる回し、電子オルガン(?)を
ひく男性がリズムに乗って髪を振
る、そして、演奏が終わったとき
には、他の人も含めそれぞれが「ど
うだ!」といった表情で聴衆に手を振
りました。感動で涙が出ました。



上越地域各消防署における 空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシー
ベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり
0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だ
とのことです。

	9月25日(水)	10月1日(火)
上越南消防署	0.043	0.047
上越北消防署	0.050	0.047
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.047	0.053
頸南消防署	0.060	0.060
東頸消防署	0.047	0.050
高士分遣所	0.040	0.050
名立分遣所	0.047	0.047